

ミニ企画展「マインツ・インパルス」開催

印刷博物館では4月19日(火)より、地下1階プロローグでミニ企画展「マインツ・インパルス」を開催します。

「マインツ・インパルス (Mainzer Impuls)」とは、失われつつある活版印刷文化の保存をめざし、賛同者を募る声明のことです。マインツ (ドイツ連邦共和国ラインラント＝プファルツ州) にあるグーテンベルク博物館が中心となり2020年に発表しました。印刷工房を中心に活版印刷文化の保存・継承に取り組む当館もこの活動に賛同するとともに、日本での情報発信を担うべく、ミニ企画展と署名収集活動を実施します。



マインツ・インパルス

マインツ・インパルス キービジュアル

■「マインツ・インパルス」の概要

グーテンベルク博物館は、活字鋳造、組版、印刷といった伝統的な技術の保存を喫緊の課題と捉え、ユネスコ無形文化遺産への登録をめざすとともに、若い世代に向けた教育プログラムの拡充、活版印刷に携わる企業や印刷工房を支援しています。

また、ウェブサイトやSNS、IAPM(国際印刷博物館連合)を通して、この取り組みを世界に発信することで多くのサポーターからの賛同を獲得し、同館に署名が寄せられています。



マインツ・インパルスを提唱するグーテンベルク博物館

■印刷博物館の取り組み

印刷博物館は凸版印刷創立100周年事業の一環として2000年10月に開館しました。以来、印刷全般に関する本格的な博物館として、「ヴァチカン教皇庁図書館」(2002)、「天文学と印刷」(2018)など多数の企画展の開催や、印刷工房を中心とした教育活動などを通して、社会、文化の発展に貢献してきた印刷の役割と意義を広く発信しています。また、IAPM(国際印刷博物館連合)に加盟し、世界中の印刷博物館とのネットワークを構築しています。

■イベントの概要

グーテンベルク博物館のあるマインツは、15世紀に鉛合金による活版印刷術を発明したヨハネス・グーテンベルク生誕の地として知られています。本展では、マインツ・インパルス(IMPULS)の声明を紹介するとともに、西洋式活版印刷術の祖であるグーテンベルクの功績を紹介します。

また日本において、マインツ・インパルスの活動にご賛同いただける方の署名もオンライン上で募ります。当館で収集した署名はグーテンベルク博物館に提出します。

マインツ・インパルス特設サイト

<https://www.printing-museum.org/mainzerimpuls/>

グーテンベルク博物館ウェブサイト

<https://www.mainz.de/microsite/gutenberg-museum-en/index.php>

【開催概要】

会 期：2022年4月19日(火)～7月24日(日)

会 場：印刷博物館 地下1階プロローグ

〒112-8531 東京都文京区水道1丁目3番3号 トッパン小石川本社ビル B1F

開館時間：10:00～18:00 (入場は17:30まで)

※オンラインによる事前予約(日時指定券)制です。

休 館 日：毎週月曜日(7月18日は開館)、7月19日(火)

入 場 料：一般400円、学生200円、高校生100円

※中学生以下、70歳以上の方、身体障がい者手帳等お持ちの方とその付き添いの方は無料

※20名以上の団体は各50円引き

※5月5日(水・祝)こどもの日は無料

W E B： <https://www.printing-museum.org/collection/exhibition/p20220419.php>

共 催：凸版印刷株式会社 印刷博物館／Gutenberg Museum, Mainz

※感染予防のために中止もしくは延期となる可能性があります。

なお、開館する場合でも入場制限の措置を講じさせていただきます。

【お問い合わせ】印刷博物館 Tel：03-5840-2300／FAX：03-5840-1567

Mail： info@printing-museum.org

*印刷博物館は凸版印刷株式会社(本社：東京都文京区、代表取締役社長：麿秀晴)が創立100周年を記念し、2000年に設立した文化施設です。